

キラめく！鳥羽びと

～鳥羽に生まれ、学び、活躍する～

鳥羽高校のクラブ活動の地域研究サークル「とばっこくらぶ」に所属し、活躍してきた野村瑠菜さんを紹介します。今春の卒業を前に、鳥羽が大好きな野村さんをインタビューしました。

観光課 ☎(25)1157 企画財政課移住・定住係 ☎(25)1227



プロフィール

鳥羽高校3年 **野村 瑠菜** さん

- ・相差町出身、在住
- ・長岡中学校を卒業して、鳥羽高校へ進学
- ・鳥羽高校入学後は部活動の地域研究サークル「とばっこくらぶ※」に入部、3年生からは部長として活躍

※とばっこくらぶとは、鳥羽高校のクラブ活動のひとつで、生徒がフィールドワークなどを通じて地域について学び、ガイドなどを通じて市内外に鳥羽のPRを行っています。

鳥羽を好きになっただけじゃなく、私は相差町で生まれて、小さなころから地元のいろんな祭りや行事に参加してきました。普段の生活から当たり前のように、自然の豊かさや地域の文化などに触れていたのでも、その経験が鳥羽のまちを好きになった原点だと思います。

相差町をはじめ鳥羽の人たちは、人が人を大切に思い、助け合う気持ちで根付いている素晴らしいところだと思っています。そんな環境を通じて、私は鳥羽のまちや人と接することが大好きになりました。

なぜ鳥羽高校を選びましたか？

私は中学生のころ、勉強をがんばりたいとか、部活で上位を目指すなどといった具体的な目標がありませんでした。

そんな時、鳥羽高校が発行しているチラシにふと目とまりました。そこには、全国の高校生が観光プランを企画して競う「観光甲子園」(くわしくは次ページ)の決勝大会に「とばっこくらぶ」が出場し、全国の舞台で活躍する様子が紹介されていました。この内



一番手前が野村さん

鳥羽を好きになっただけじゃなく？

私は相差町で生まれて、小さなころから地元のいろんな祭りや行事に参加してきました。普段の生活から当たり前のように、自然の豊かさや地域の文化などに触れていたのでも、その経験が鳥羽のまちを好きになった原点だと思います。

鳥羽高校での3年間で成長したこと、学んだことは？

「とばっこくらぶ」に入ってから、まちのかたにインタビューをしたり、観光案内をするなどフィールドワークを中心に鳥羽について勉強しました。そして、市内外のいろんな場で鳥羽の魅力を発表してきました。



鳥羽駅前でのガイド

しかし、入部当初は人前で話すことが得意ではなかった。発表の際は原稿を読み上げるのが精いっぱい、うまく発表することができませんでした。「とばっこくらぶ」の活動を通じて、「伝える」ことの難しさや大切さを学ぶことができたのは良い経験になりました。

今もまだまだ勉強中ですが、最初のころよりは自分の気持ちや頭の中を整理して話すことができるようになってきたと思います。

高校生活で印象に残ったことは？

鳥羽のまちの魅力を精いつ

とばっこくらぶアルバム Since2015

「とばっこくらぶ」は準備期間を経て、平成27年に発足し、いろんな活動を積み重ねてきました。さまざまな大会への参加をはじめ、これまでの主な活動成果を紹介します。



観光甲子園の舞台上で全国に鳥羽を発信！

例年全国から100校を超えるほどの数多くの高校がエントリーする大会で、上位数校のみが出場することができる最終選考の決勝大会に進出しています(平成27年、平成29年と2度の出場実績あり)。全国放送されている朝の情報番組でも紹介されました。



全国高等学校 観光教育実践発表大会で優良賞

観光について勉強している高校生が集まり、日頃の社会活動や教育研究を発表する大会で、平成30年度に全国3位の優良賞を受賞しました。



三重県総合教育会議での 県内の代表校として事例発表

平成30年度三重県総合教育会議での県立高校の活性化をテーマとした議題の中で、「とばっこくらぶ」の活動紹介を知事の前で生徒自ら行いました。



県外の高校との学校間交流

宮城県の松島高校や田原市の福江高校、岐阜県の益田清風高校など県外の生徒との学校間交流を行っています。

鳥羽市内での交流の際には生徒自ら鳥羽のまちを紹介して鳥羽の魅力を伝えました。



小学生への海女文化説明

市立海の博物館で三重大学海女研究センターと連携して、地元小学生の夏の自由研究を応援する企画に「とばっこくらぶ」のメンバーも参加し、小学生に館内展示の説明を行いました。



市民功労者表彰受賞

観光甲子園全国大会出場などの観光振興に寄与したことから、平成29年度市民功労者表彰で感謝状が贈られました。

とばっこくらぶ顧問 安田 恵理 教諭



「とばっこくらぶ」の活動開始から6年がたちました。発足当時の目標は、『「とばっこくらぶ」の活動で、地元の子どもたちが鳥羽高校で活躍してくれること』でした。少しずつ生徒が集まり、ツアーガイドやイベントへの参加など活動の輪が広がりました。これまでの取り組みを大切にして、鳥羽のまちの力になれるようがんばっていききたいと思います。

野村さんは、これからたくさんの人と出会いながら、鳥羽への熱い思いを持った仲間と活躍してくれることを期待しています。

鳥羽高校は、「みんなの夢が叶う学校」です。これからも観光のまち、鳥羽にある高校ならではの活動を実践していきたいと思っています。鳥羽高校では、新しい「とばっこ」たちと会えるのを楽しみにしています。

ぱい市内外の多くのかたに伝えられたことや、活動を通じて鳥羽のみなさんに応援してもらったことです。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、思うような活動ができなかったが、そんな中でも3年間の集大成として昨年の夏休みに「鳥羽市観光活性化計画画」と題して自分なりに鳥羽の観光についての思いを冊子にまとめたことや、11月にクロアチア大使が学校へ訪問された際に、鳥羽高校を代表して大使の前で発表できたことはすごく印象に残っています。



クロアチア大使の前での発表

鳥羽高校に進学したことで、充実した学校生活を過ごすことができました。

卒業後の抱負は？

高校卒業後は鳥羽市内に就職する予定です。

大好きな鳥羽のまちがずっと輝き続けるために、私も力になれるようがんばっていききたいと思っています。

最後になりますが、この記事を見て、鳥羽高校への進学や鳥羽のことを好きになってくれる後輩が誕生するきっかけになればうれしいです。



インタビューの様子